

令和7年度地区懇談会（中央地区、札内・来馬地区） 議事録（概要）

令和7年10月30日（木）18:00～19:30

鉄南ふれあいセンター 出席者16名

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

(1) 鹿の個体数の増加について

概要説明：千歳町内会

- ・ 毎年秋に鹿の駆除が行われる旨の回覧板は回るが、実際に何頭駆除されたかの報告や回覧は一切なく、駆除後の情報がない。
- ・ 報告がないため減少を感じられず、むしろ増えていると感じており、地元の道路でも鹿の飛び出しや追突事故が起きている。
- ・ 駆除頭数などの結果を公表する予定があるのかお聞きしたい。

回答：観光経済部

- ・ 市単独での個体数把握は困難であるが、北海道内のエゾシカの令和5年の推定生息数は73万頭、石狩・胆振・日高の北海道中部地域で約22万頭とされる。
- ・ 北海道は令和5年度の捕獲目標を18万5千頭としたが、実際の捕獲数は約15万頭にとどまる。
- ・ 登別市の駆除数は令和3年度で、552頭、令和4年度で823頭、令和5年度で892頭、令和6年度で1,155頭、令和7年度は4月～8月で597頭と増加しているものの、個体増加に追いつかず、対策は登別市においても北海道においても困難な状況である。

回答：市民生活部

- ・ 鹿による道路交通事故は、道路への侵入や飛び出しによる車両との正面衝突や、ドライバーの回避行動に伴う車同士の衝突などがあり、場合によっては重大事故につながるものと認識している。
- ・ 対策として、鹿の出没が多い場所に注意喚起の看板を設置することが考えられるので、該当地域では道路管理者へ看板設置の要望を行っている。
- ・ 鹿の生態である、朝夕に出没しやすい、1頭出ると続いて出るなどの情報を、市公式ウェブサイトやLINE等で周知・啓発し、交通事故防止に努める。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

(2) ゴミ箱の町内会関係者以外のゴミ出しについて

概要説明：千歳町内会

- ・ 外部からゴミを持ち込んでゴミ箱に投棄する事例や不法投棄があるため、対策が必要だと考える。
- ・ 町内会のゴミ箱は老朽化しているが、一度に更新すると費用が大きく、物価上昇で町

内会費を増やすのも難しい。

- ・ 不法投棄対策やゴミ箱の設置・修理への経済的援助・支援を検討してほしい。

回答：市民生活部

- ・ 対策として市は不法投棄抑止の啓発用看板を町内会に順次配布している。
- ・ 過去にはゴミ袋を守るネット購入補助事業があったが、箱型の鉄製ステーションに移行した経緯があり、現在は町内会が設置したステーションの修繕費を支援する制度はないという現状である。

意見：千歳町内会

- ・ 現在使われているネットはカラスが突いて隙間から物を引っ張り出すため、近隣住民の意見ではほとんど効果がない。
- ・ 箱型にしてネットをかける対策もあるが、カラスが隙間や上から突つくため十分ではない。
- ・ 個々の班や地域で対策用品をそろえると5~6万円かかり住民負担が大きいため、支援や別の対策案の検討を求める。

回答：市民生活部

- ・ 連合町内会から5月に提出された「町内会への助成金見直し」の要望を受け、現在市民協働グループで助成金の見直しを進めている。
- ・ 世帯ごとの助成や町内会ごとの一律支給額など具体的な配分について庁内で検討中で、ゴミステーションに限定した助成金ではないが、現在見直し作業を進めているためしばらくお時間をいただければと思う。

質問：中央町内会

- ・ 草むらや道路の外れなど目につかない場所に大型家電などの不法投棄や、道路沿いへのペットボトル等の投げ捨てがあり、見苦しくなっている。
- ・ クリクルセンターに連絡すれば始末してもらえるが、根本的な抑止にはなっていない。
- ・ 個々の市民の意識改革が必要だと思うが、市はどのような施策を取れるか。

回答：市民生活部

- ・ 不法投棄対策の中心は啓発活動で、看板の設置や巡回などの防止対策も行っている。
- ・ 最近の新しい取り組みとして、繰り返し投棄される深刻な箇所には監視カメラを設置しており、設置直後から抑止効果が確認されている。
- ・ 監視カメラは予算や撮影場所の調整の課題があるため一気に広められないが、効果を踏まえて段階的に増やしていく予定である。

意見：中央町3丁目

- ・ 市の助成金の見直しを検討しているとのことであったが、私たちの地域はゴミステーションを「区」で管理しており、ゴミ箱が壊れた場合は区で協議して、改修するか、新たに設置するか検討し、お金を出している。
- ・ 今は物価が高騰しており、区で手に負えないことがあるので、市のほうで負担をお願いしたいという声が上がっている。また、助成金の話があったが、助成金全部をゴミステーションに充てるわけにいかないのと考えていただけたらと思う。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

(3) 市内の太陽光パネルの設置状況について

概要説明：千歳町内会

- ・ 千歳・新栄・すずらん団地の3町内会で昨冬から春にかけて業者と市と太陽光発電の協議を重ねており、千歳の7班近くの私有地（旧牧草地）への設置案について業者と4～5回程度話し合ってきた。
- ・ パネルには有害物質が含まれるが、道内でパネルの処分ができる場所が非常に少ないため、破損時の土壌流出など環境リスクを懸念している。
- ・ ところが今年1月、旧し尿処理場跡地や市民プール横などに市が太陽光設置を進めると新聞で知り、住民に告知なく進められたことに大きなショックと不信を感じた。
- ・ 今後さらに空き地で太陽光パネルが増える懸念があり、観光都市として国道沿いにパネルが並ぶことへの市の見解と対策を求める。

回答：市民生活部

- ・ 国はゼロカーボンを目指し、市も再生可能エネルギー、特に太陽光発電を推進している。
- ・ 一方で樹木伐採や景観悪化などの地域環境問題があり、令和5年4月に設置ガイドラインを策定し、事前協議や地域説明会を促進、さらに今年3月制定・6月施行の「登別市再生可能エネルギー発電事業と地域との調和に関する条例」で規制を強化した。
- ・ 条例は国立公園や温泉周辺などを禁止・抑制区域に定め、災害防止・安全対策・雨水対策などの義務を課すが強制力は限定的で、市は業者と協議し雨量や火山灰土などの地域特性を伝えて対策を求め、現在相談中の業者は条例を順守していると認識している。

質問：千歳町内会

- ・ その条例は町内会に提示してもらえるか。

回答：市民生活部

- ・ 市公式ウェブサイトで公開しているので確認いただける。もし必要であれば町内会長のところに印刷したものを届けることもできる。

意見：千歳町内会

- ・ 全国に太陽光パネルが増え問題化しており、ある地域では陸上の太陽光を禁止して洋上発電や風力へ切り替える動きが出ていると聞いている。
- ・ 業者からは、登別では平地での設置で森林を削るようなことはしておらず、伊達や有珠で大規模メガソーラーを手がける業者でも山を削る方式取っていないと説明を聞いている。自然を守る会の会長も説明を聞き、問題には当たらないとして安心していた。
- ・ 太陽光パネルは自然景観にそぐわないため、景観保全を重視してほしい。特に海の見える場所や国道沿いに設置するクリンクルセンター等は、景観を損なわない配慮を求める。

回答：市民生活部

- ・ クリンクルセンターに太陽光発電設備を設置する計画があるが、現時点では詳細はまだ固まっていない。
- ・ 計画がある程度まとまり次第、来年春まで地域住民向けに隣接地を含む概要説明会を行う予定で、案内を出すので参加いただければと思う。。
- ・ 景観への配慮として、特に国道沿いに植栽などの目隠し対策を検討している。

意見：中央町内会

- ・ 幌別中学校からカルルスへ向かう道路付近のゴルフ場周辺で、太陽光発電用地の造成やブルドーザーによる伐採・整地が急増している。
- ・ これらは一般市民が普段通らない奥地で進められ、景観破壊や木の伐採といった影響が出ており、これまで売れなかった土地が突然買される事例も見られる。
- ・ 市には業者の申請を何でも受け入れるのではなく、景観保全や許認可の在り方を含め慎重に検討してほしい。

回答：市民生活部

- ・ 札内奥での開発については把握しており、設置に当たっては現行条例により事業者が必ず役所に相談に来ることになっている。
- ・ 我々は木をあまり切らないなど環境配慮した計画を取るよう指導・要請している。
- ・ 条例で発電事業の届出書の提出を義務付け、維持管理計画や維持・撤去に関する資金の積立などの記載を求めているため、事業者はそうした配慮をしていく見込みである。

6. 市からの情報提供事項

(資料4) 新しい市役所本庁舎の整備について

説明：総務部

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

6. 市からの情報提供事項

(資料5) 中央地区のまちづくりについて

説明：総務部

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

6. 市からの情報提供事項

(資料1) 津波発生時の対応について

説明：総務部

- ・ 資料に基づき説明を行う。

質問：中央町3丁目

- ・ 窓を開けていても防災無線の音が聞き取りにくい。特に女性の声の場合が聞き取りにくく、男性の声だと低く聞こえやすい時があるので検証をお願いしたい。

回答：総務部

- ・ 今後業者の方を呼び音質改善を行う予定なので、参考にさせていただく。

質問：常盤町内会

- ・ 津波発生を全体に周知する場合、高齢者はメールなどが使えないと思う。
- ・ 防災無線も聞こえなかったが、テレビで海岸にいる方は避難してくださいと言われていたので、自分のところは海岸ではないので避難しなくていいと判断した。
- ・ 高齢者にも伝わるようお願いしたい。

回答：総務部

- ・ 今はみなさんスマートフォンをお持ちかと思うので、防災講習会などで登録方法を教えていきたいと思うので、市のLINEに登録するなどしていただければと思う。
- ・ ただし、市としてはLINEだけに頼るのではなく、様々な方法で周知していきたいと考えている。

質問：中央町3丁目

- ・ 先日のカムチャツカ半島での地震の際、自分は国道を通過して避難したがかなり空いていた。
- ・ 自分は室蘭工業大学のほうまで避難したが、登別市民が避難してもよかったのか。

回答：総務部

- ・ 現在、車での避難のルールはまだ設けていない状態である。
- ・ 実は当日は国道は通行止めになっていたもので、空いていたのかと考える。

- ・ 車での避難については検証中で、今後専門家の意見を聞きながら考えていきたい。

質問：常盤町内会

- ・ 本日の資料については紙媒体で配布して説明してほしい。

回答：総務部

- ・ 今回の資料がカラーで地図を使ったものだったので、白黒では分かりづらいと判断しスクリーンでお示した。今回については御了承いただければと思う。

質問：千歳町内会

- ・ 一時避難場所がアーニスや日本工学院とあったが、夜中であっても対応してくれるのか。
- ・ 他市の親戚のところでは防災無線が受信機で入るようになっているところがあるので、一人暮らしの高齢者の家に設置することを検討していただきたい。

回答：総務部

- ・ 津波避難ビルについて、全てが24時間入れるようになっていないわけではない。同じ話をたくさん受けているため、今後検討するため整理させていただきたい。
- ・ 個別に防災行政無線を設置するとかなりの金額になるため、防災ラジオを検討している。

回答：市長

- ・ 紙資料について、今回示した資料がまだたたき台の段階であり、さらに精査した段階でお示したほうが良いと考えている。
- ・ 現段階の資料をお出ししても混乱させてしまうと思うので、お時間をいただきたい。

質問：市民（町内会不明）

- ・ 意見交換事項にない質問だが、中央地区のまちづくりについて、この地区には図書館の問題がある。
- ・ 新聞報道では、アーニスへの移転で決定したかのような内容が出ており、市民もそう思っている方がいると思う。
- ・ 広報などで経過の報告など正確な情報を示してほしい。

回答：総務部

- ・ まちづくり協議会の中からアーニスへの移転の案が出たことにより、教育委員会で検討をしているところであり、（新聞報道等により）多くの市民はそういった議論がなされているという認識である。
- ・ まだ教育委員会・市で最終的な判断をしていないため、現在の段階で広報に出すこと

は考えていない。

質問：市民（町内会不明）

- ・ 市民憲章の中に「未来を創る～」「視野を広げて～」とあるが、図書館の問題と関連していると思う。教育長の見解を聞きたい。

回答：教育長

- ・ 「教養を積み視野を広げて」というのは、当然それぞれの市民の教養である。教育委員会としてそのための施策をしていると考えている。

意見：常盤町内会

- ・ 常盤町東通りの拡幅工事をしているが、その区間にアーチ式の街路灯が2基ついて、もう一つ電柱にライトがついている。以前北海道に確認したら、その街路灯は撤去するということであった。撤去されると暗くなるので町内会で防犯を付けることを検討しなくてはならないので、今ある街路灯を残していただきたい。
- ・ 今年から会長兼総務をしているが、市から送られてくる文章について、返信用封筒が付いていたり付いていなかったりするので、市としてはどちらの対応なのか確認したい。

回答：都市整備部

- ・ 街路灯については北海道のほうに改めて町内会からの要望を伝えていく。

回答：市民生活部

- ・ 返信用封筒については、市から依頼しており返信が必要な場合は返信用封筒を付けるべきだと思うので、周知していきたい。自らが申請するものについては、返信用封筒は付かないという認識である。

その他

（太陽光パネルについて補足説明）

回答：市民生活部

- ・ 太陽光パネルについて誰が許可しているかという話があったが、太陽光パネルについては各種法令があり、国や北海道が許可することになる。
- ・ 市の条例では、許可を証明する書類を申請書類と共に出してもらい、確認することとしている。

意見：中央町3丁目

- ・ 新庁舎を高台に移転する件は承知しているが、移転先が陸上競技場の跡地になること

に懸念がある。

- ・ 陸上競技場は地域のスポーツ施設なので、代替となる相応のスポーツ施設を別の場所に整備してほしい。
- ・ 町内会の役員として、市に住民の声が届きにくいと感じているのでこの場を借りて市長に対応をお願いしたい。

回答：市長

- ・ 陸上競技場の代替機能については川上公園や小中学校のグラウンドなどを含め数年かけて検討してきたが、町内会への情報提供が十分でなかった可能性がある。
- ・ 旧幌別東小学校のように用途転換が必要な施設については、教育用途だけでなく産業集積や医療・福祉など多角的な活用を念頭に置き、地域住民と情報共有する必要がある。
- ・ 太陽光パネルの件などの指摘を踏まえ、何度も繰り返して周知するとともに、誰にいつ説明したかを記録・検証し、各地区へ均等に情報が行き渡る仕組みを連合町内会長及び事務局と相談して数か月以内に見直したい。